

| | | | | | |
|--------------------|---|----------------------------------|----------|-------------------------------------|--|
| NETIS登録番号 | 技術名称 | ATコート工法 | | | |
| QS-130002-A | 副題 | 無機セメントモルタルを用いたプライマー処理が不要な断面修復工法。 | | | |
| 分類1 | 道路維持修繕工 | 橋梁補修補強工 | 断面修復工 | キーワード: 環境、コスト削減・生産性の向上、公共工事の品質確保・向上 | |
| 分類2 | 道路維持修繕工 | 橋梁補修補強工 | 橋梁地覆補修工 | | |
| 開発目標 | 経済性の向上 耐久性の向上 品質の向上 | | | | |
| 技術の位置付け | <input type="checkbox"/> 推奨技術 <input type="checkbox"/> 準推奨技術 <input type="checkbox"/> 活用促進技術 <input type="checkbox"/> 設計比較対象技術 <input type="checkbox"/> 少実績優良技術 | | | | |
| 特許 | <input type="checkbox"/> 有り(特許番号:) <input checked="" type="checkbox"/> なし | | | | |
| 技術賞, 審査証明等 | <input type="checkbox"/> ものづくり日本大賞 <input type="checkbox"/> 国土技術開発賞 <input type="checkbox"/> 学会賞 <input type="checkbox"/> 建設技術審査証明 | | | | |
| 問合せ先 | 会社名 | 株式会社アドテック | | TEL | 092-262-1088 |
| | 住所 | 福岡県福岡市博多区中洲5丁目6番20号 | | E-MAIL | taniguchi@adtech-m.co.jp |
| | 担当者 | 谷口 和隆 | | | |
| 実績件数 H25.5.15現在 | 国土交通省 | | その他の公共機関 | | 民間等 |
| | 3件 | | 5件 | | 0件 |

技術概要: (300字以内)

劣化したコンクリート構造物の断面修復工法であり、欠損部や小さなひび割れの修復を無機材であるATコートのみで行う。なおこの工法は投錨効果による母材との高い付着力を発揮するためプライマー処理は不要であり、工期短縮も期待できる。

期待される効果

- ・無機材とした事により臭いが無い為、狭い場所、換気がしにくい場所でも施工出来る→作業環境の向上
- ・高い投錨効果により、母材との高い付着力が発揮される→品質の向上
- ・プライマー処理が不要であり、施工面が湿潤状態でも施工可能である。さらに投錨効果が高いため表面の全体的なチッピングは不要→工期短縮、コスト削減

適用条件

- ①自然条件
 - ・施工可能外気温は5℃～40℃程度
- ②現場条件
 - ・機械は小型機械で良いため、人力施工のできるスペースがあれば作業可能である。
- ③技術提供可能地域
 - ・日本全国



適用範囲

- ①適用可能な範囲
 - ・コンクリート構造物全般の断面修復。
- ②特に効果の高い適用範囲
 - ・工期短縮を期待する現場。
 - ・施工面が湿潤状態な箇所。
 - ・換気が困難な箇所。



施工単価

| 施工単価 | 仕様 | 数量 | 単位 | 金額(円) | 摘要 |
|-------|----------|------|----|-----------|----------|
| 材料費 | ATコート材 | 2112 | kg | 591,360 | 施工厚さ10mm |
| 労務費 | 混練、吹付、塗り | 100 | m2 | 158,300 | |
| 機械経費 | | 1 | 式 | 7,568 | |
| チッピング | | 50 | m2 | 235,300 | |
| 洗浄 | | 100 | m2 | 37,000 | |
| 諸雑費 | | 1 | 式 | 8,472 | |
| 合計 | | | | 1,038,000 | 100m2当たり |

積算条件
 施工面は単純な壁床面。
 足場養生費は単価に含まない。
 労務単価は平成25年福岡県を採用。
 施工規模100m2未満は別途割増し。

施工方法

- ①洗浄
 - ・高圧水洗浄機で付着している苔、泥等を十分に取り除く。
- ②材料混練
 - ・ATコートの混練不足は強度低下の要因であるため、所定の混練(6分)を厳守する。
 - ・水比は強度に影響を及ぼすため規定量(15%)を守る。ATコート25kgに対し水3.75kgとする。
- ③断面修復
 - ・吹付及びコテを使用して、材料を充填する。
- ④断面修復仕上げ
 - ・充填箇所が締まった状態(指で押さえて形がはっきりする)になったら、コテを使い断面修復を仕上げする。